



進 交 会 報



— 新進交會館落成記念特別号 —



(初代 昭和30年落成)



(第3代 令和2年3月落成)



(第2代 昭和48年落成)

【目次】

理事長・学長・校長挨拶
 新進交會館落成に乾杯
 進交會館建替プロジェクトについて
 新進交會館落成新聞記事
 祝 新進交會館落成賛助広告
 リニューアル募金・建替募金 募金者一覧
 はつかに見えし歌の芽
 美澤校祖伝記の入手由来
 市大だより
 市大活動だより
 市大同期会だより
 Y校だより
 Y専同期会だより
 Y校同期会だより
 支部だより・進交会だより
 市大同窓会だより
 Y校会だより
 訃報・編集後記

二二二二 十十十十 十十十十 十
 四三二〇 七 七 四 四 三 一 一 八 六 五 四 三 二

発行所 一般社団法人 進交会

〒 231-0012 神奈川県横浜市中区相生町 6-111

電話 045-681-6575 FAX 045-681-6585

メールアドレス shinkokai@nifty.com

ホームページ <http://shinkokai-web.jp/>

新進交會館落成を機に

更なる飛躍を



一般社団法人進交会 理事長 古屋 文雄
春爛漫のこの佳き日、待望の新進交會館が落成いたしました。新會館建築に際し、工事を担当して頂きました生和コーポレーション

株式会社様、一般財団法人首都圏不燃建築公社様、そして進交会理事の方、また進交会募金協力者の方、そして会員並びに関係者の方々には多大なるご支援、ご協力を賜りまして、心から御礼申し上げます。

進交会は、昭和14年に社団法人資格を取得し、以来80年に亘りそれを基盤とし、同窓生相互の絆を強め、より同窓会事業活動を活発化してきました。昭和30年にこの地に2階建ての進交會館を建設し、昭和36年には3階を増設し、そして昭和48年に8階建ての前進交會館を建設してまいりました。しかし、築44年が経過し、老朽化及び耐震性等の問題、さらにテナントの退出等により建物の維持が難しい状況となりました。そこで、平成30年4月に新進交會館の建築に着手しこの素晴らしい建物に生まれ変わりました。

新會館は2階、3階を進交会が使用し、2階は会員の皆様がお置きなく利用できる「みなと倶楽部」と「進交会事務局」、3階は貸会議室（イベントスペース）となっております。そして1階はテナント、4階以上を『レガシー横濱』と名付け24室の賃貸住宅となっております。『レガシー横濱』の名称は眞に進交会の伝統、歴史を強く実感していただけるものと自負しております。そして9階建ての明るく近代的な建物に生まれ変わり、来訪される方々にも必ずやご満足いただけるものと確信いたしております。新會館の落成を1つの節目といたしまして、Y校、Y専、市大各同窓会がワンチームとなって拡大発展するよう更に一層の努力を重ねてまいります。今後ともご指導、ご鞭撻賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。

令和時代のさらなる発展に向けて



横浜市立大学学長 相原 道子
新進交會館の落成、おめでとうございます。令和の初頭に建替えが完了したことは、進交会の新時代の発展を強く予感させるものであります。

この度私は、窪田前学長の任期満了に伴い、令和2年度より学長を拝命いたしました。昭和54年度に横浜市立大学医学部医学科を卒業し、平成20年度に附属病院皮膚科教授、平成23年度に医学研究科環境免疫病態皮膚科学教授に就任しました。平成28年度から令和元年度まで附属病院長及び大学の理事として、病院の改革等に取り組んでまいりました。どうぞよろしくお願ひいたします。

現在、大学は新たな発展に向けて活発に進化し続けております。「データサイエンス学部」の新設に続き、令和元年度に国際総合科学部を「国際教養学部」「国際商学部」「理学部」の3学部

新進交會館落成にあたって



横浜国立横浜商業高等学校校長 磯部 修一

新進交會館の落成、誠におめでとうございます。昭和四十八年に建築された旧進交會館は当初はモダンなビルディングであったとお聞きしております。その後四十数年経つ中では、平成

二十三年の東日本大震災で大きなダメージを受け、老朽化とも併せて耐震面での心配もされていたことから建替えが検討されていたことを進交会報で知りました。平成二十八年度の理事会で進交會館の建替えが決議されてから今日までたくさんのご苦労があったことと拝察いたします。先日、會館内を見学させていただきましたが、

再編しました。グローバル社会を意識するとともに、学びを深化させています。更に、令和2年4月には、大学院「データサイエンス研究科」が新設されました。データの新たな価値を社会実装する高度人材の養成と研究力の強化を進めてまいります。

さて、令和10年度には、横浜商業専門学校の設立から数え、大学創立百周年を迎えます。この節目に合わせ、「グローバル人材育成」「新たな研究創成」「学びの環境整備」の3つの事業や、2つの附属病院の再整備構想が動き始めております。進交会とは平成30年度より、地方支部に理事長をはじめ教員管理職がお伺いし、懇親を深めさせて頂いたことに加え、進交会横浜市立大学同窓会の設立など、進交会と本学の関係は一層強固なものになっております。

横浜と共に歩み、歴史と伝統を重んじ、未来に向けて常に発展する横浜市立大学を、令和の時代におきましても、皆様には引き続き変わらぬご支援、ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

落ち着きのある快適な空間であり、卒業生の交流の場となっている「みなと倶楽部」も装いを新たに、これからも楽しく語らえる場となるであろうと想像いたしました。

卒業生と云えば、先月の本校卒業式では進交会より美澤皆勤賞、成績優秀者への奨学金をいただきました。今後も引き続きY校教育活動へのご支援・ご協力をお願いいたします。

この進交會館が会員の皆さまの新たな拠点となり、進交会がますますご発展されることを心より願ひ、お祝ひのご挨拶とさせていただきます。

新進交會館落成に乾杯

待ちに待った進交会のシンボル『新進交會館』は平成30年4月に建設工事を開始し、令和2年3月4日に落成しました。建替え工事計画に携わっていただいた特別委員会・総務財務委員会をはじめ各委員会委員のご努力により諸問題を解決、乗越え約2年の工事期間を経て堂々落成しました。

【建物の概要】

○建物構造

(1)鉄筋コンクリート造り9階建

1階 テナント(店舗・事務所)

106.36㎡(32.17坪)

(有)扇(うどん)店様と令和2年3月1日賃貸借契約締結済

2階 進交会事務室・みなと倶楽部

132.62㎡(40.12坪)

3階 進交会会議室

132.62㎡(40.12坪)

(2会議室に間仕切り可能)

4階〜9階 賃貸住宅24戸1DK

・二戸30.75㎡(9.30坪)

名称「レガシー横濱」

・生和不動産保証(株)との

建物一括賃貸借契約を締結

(2)建築面積177.45㎡(53.68坪)

(3)延床面積1,303.43㎡

(394.29坪)

(4)建設工事費 536,000,000円

(5)資金調達

(資金) 住宅金融支援機構

(保証) 一般財団法人首都圏不燃建築

公社

(返済) 35年固定金利、均等払い

(6)施工

生和コーポレーション(株)



正面



全景



右手：レガシー横濱玄関



進交会館正面玄関

【修祓の儀】

杉山神社宝積章磨宮司による修祓の儀を令和2年3月4日(水)午前9時30分から3階会議室で厳かに執り行いました。

◎参列者

理事長、副理事長(2名)、会計理事、常務理事(5名)、理事(8名)、監事

(1名)事務局(2名)

一般財団法人首都圏不燃建築公社(4名)

生和コーポレーション(株)(3名)

(株)横濱屋(1名) 合計28名

◎式次第

- 一、修祓の儀(しゅばつのみぎ)
- 一、降神の儀(こうじんのみぎ)
- 一、献饌の儀(けんせんのみぎ)
- 一、祝詞奏上(のりとそうじょう)
- 一、玉串拝礼(たまぐしはいれい)
- 一、撤饌の儀(てっせんのみぎ)
- 一、昇神の儀(しょうじんのみぎ)

◎修祓の儀終了後に、生和コーポレーション(株)様に工事の無事完成に感謝の意を表し、感謝状を古屋文雄理事長より贈呈しました。

◎祝電披露

内閣官房長官 菅 義偉様からの祝電を披露しました。

【落成式・内覧会】

令和2年3月4日11:00から予定しておりました落成式及び14:00からの内覧会は新型コロナウイルス感染拡大防止により、誠に残念ながら延期とさせていただきます。

なお、新たな開催日は現在未定です。

【落成記念品】

- ・製 作 株式会社 横濱リテラ
- ・封入菓子 クッキータイム原宿店製
- クッキー

リニューアル募金、建替え募金合計2万円以上の方に送付しました。



レガシー横濱玄関



2Fみなと倶楽部



3F会議室



修祓の儀

【みなと倶楽部会議室（イベントスペース）利用について】

項目	利用内容
1 営業時間	平日・土曜日 12:00 ~ 20:00 日曜営業（※印参照）12:00 ~ 18:00
2 休日	2F・3F祝祭日
みなと倶楽部 利用料	会 員 300円（飲食を伴う場合は不要） 非会員 500円
3 会議室 （イベントスペース） 利用料	12:00 ~ 20:00 ①会 員 ●平日・土曜日 2時間まで3,000円 以後、1時間毎に1,000円 ●日曜日 2時間まで5,000円 以後、1時間毎に1,500円 ②非会員 ●平日・土曜日のみ 2時間まで5,000円 以後、1時間毎に1,500円
4 予約システム	電話・HPにより3ヶ月前から予約を受付る。 進交会行事を優先する。

※みなと倶楽部・貸会議室（イベントスペース）の日曜日の利用は会員のみの利用とし、且つ、団体10名以上の利用に限る。
非会員の利用は受け付けません。

【みなと倶楽部・会議室（イベントスペース）のご利用について】
新型コロナウイルス拡大感染防止により、4月末まで営業を自粛しております。
心待ちにしている会員の皆様には誠に申し訳ございませんが、ご理解、ご了解くださいますようお願い申し上げます。
開業の情報はホームページでお知らせする予定です。

進交会館建替プロジェクトについて

進交会副理事長

（特別委員会会館建替PJリーダー）

金子延康（市大商昭52卒）

はじめに、特別委員会委員長として、進交会館建替プロジェクトを強力に推進して下さった、故山本道昌様に、メンバー一同深く感謝を申し上げ、謹んで哀悼の意を表します。山本委員長の下、これまで進めてきた同プロジェクトの概要を報告します。

〔建替の経緯〕

旧進交会館が、築四十四年を経て老朽化が進んだこと、耐震基準を満たさず賃貸事業継続に問題が生じたこと、テナントの撤退など、建物存続上の課題が山積する中で、平成二八年夏から特別委員会同プロジェクトにおいて解決案の集中検討を始めました。耐久補強工事案、等価交換案、売却案、建替案ほか、広く代替案を抽出して、会館の安全確保、進交会収入の安定確保、資金調達、事業の安全性などの観点から代替案を精査・比較検討した結果、建替え案を選択し、理事会と総会を経て、建て替えに着手しました。

建て替えのプル要因として、史上最低金利、三十五年間の固定金利、不燃公社のスキームで資金調達できること、市役所が徒歩3分の近接に移転することなどがあり、これらをフル活用してプロジェクトを推進することとなりました。

〔進交会の知恵と力の結集〕

ここで、特筆すべき重要な事としては、故山本委員長を中心に話し合い、進交会

の後輩たちに事業リスクを負わせないとに特に留意して、事業を評価・選択して進めたことがあげられます。そして、進交会の持続的發展という目標を関係者が共有し、目標に向かって連携して進めてきました。

建替事業は、平成二九年六月に工事契約し、令和二年二月に竣工・引渡を迎えました。その間、プロジェクトメンバーだけでなく、総務・財務委員会、事業委員会の委員を中心に広く進交会関係者の、持ちうる知恵と力を出し合いながら進められました。今回の建替事業は決して平坦な道ではなく、旧進交会館解体時のトラブルや想定しなかった地中埋設物の存在によるコストアップと事業の遅れなど、何度か困難に遭遇しましたが、進交会総力を挙げて難関を乗り越えることができました。また、基本設計から詳細設計、建物の細部の仕様の決定、事業の進捗管理など、同プロジェクトが担う事項は大変多く、会合は約三年間で通算六十回を超えることとなりました。

〔会館の活用にもつて〕

新進交会館は二月に竣工し多目的な交流の場が生まれました。新しい会館は利便性が高いので、同窓生相互の交流、母校や現役生との連携・交流、セミナーやダンス・音楽などの発表、SDGsに向けた取組イベントなど、同窓生の繋がりがインフラとして、広く有効に活用していただきたいと思います。

◎特別委員会建替プロジェクトメンバー

〔敬称略〕

安川 栄一（Y昭44卒）

大宮 勲（Y昭48卒）

金子 延康（市大商昭52卒）

佐藤 公紀（市大商昭47卒）

中代 繁（市大商昭44卒）



工事確認でヘルメット姿のプロジェクトメンバー

故山本道昌理事の訃報に接し…



進交会理事、特別委員会委員長の山本道昌氏（Y昭31・市大商昭35卒）が令和元年12月30日急逝されました。進交会を愛し、理事・特別委員長として新進交会館の建替え工事に大変なご努力をされました。3月の落成を前にご逝去されたことはさぞかし無念で、残念なお気持ちであったと思います。ご生前のご功績を偲び心からご冥福をお祈り申し上げます。

「親睦 ともに力入れ」

横浜商高・市大の合同同窓会

横浜市立横浜商業高校（横浜市南区）と横浜市立大学の卒業生でつくる同窓会「進交会」が、2日までに同市中区相生町6丁目1に新会館を建築した。高校と大学の同窓会が一体化した組織は全国でも珍しく、自己名義の土地に同窓会館を所有する同窓会も全国で数少ないという。同会は「今後も母校支援や会員の親睦に力を入れたい」と話している。

（柏尾 安希子）

新会館建築サロン、会議室も

両校の同窓会が一体となった理由は、その歴史にある。はじまりは1882年の横浜商法学校の設立。以後同校は横浜商業学校に改称し、さらに1928年、同校の敷地内に市立横浜商業専門学校（Y専）が設立され、横浜商業学校ともども「Y校」と呼ばれるようになった。

さらにY専は市立経済専門学校への改称を経て49年、横浜市立大学と改称される。こうした母校の動きに伴い同窓会も一体となり、2011年には「進交会」として一般社団法人に移行した。

同会は、横浜商法学校の初代校長、美澤進の功績をたたえ市が贈与した用地に1955年、初代の会館を建築し、73年に一度建て替

えた。その建物も老朽化したことから今回工事を進め、耐震機能を強化した鉄筋コンクリート9階建てのビルに生まれ変わった。

新会館は延べ床面積が約1千300平方メートルで、2階に同会事務所と、会員が飲食しながら親睦を図ることができるサロン「みなと倶楽部」を備える。3階は同会の貸し会議室で、4階から9階は賃貸住宅となる。

9日からは、みなと倶楽部が本格的にオープンする予定。同会の古屋文雄代表理事は「2028年に横浜市立大学は創立100周年を迎える。今後も応援母体として母校のバックアップを続けることも、会員の親睦に力を入れたい。多くの会員に利用してほしい」と話している。



新しい会館の前で今後について話す古屋代表理事（左）
横浜市南区

（令和2年3月3日 神奈川新聞掲載記事）

（令和2年3月12日号
タウンニュース横浜市中区・西区版掲載記事）



完成した新「進交会館」
（上、同窓会の古屋代表理事）

馬車道近くの会館新装

「ワンチームで母校支援」

市立横浜商業高校（Y専）と横浜市立大学（市大）、中大の前身である市立横浜商業専門学校（Y専）の3校の卒業生および現役生からなる「進交会」。中区相生町6丁目にある同会の会館を建て替えるが、このほど完了した。3月4日には建物を含めた安全を祈願する神事が関係者40人の出席のもと、執り行われた。

新会館は鉄筋コンクリート造の9階建て。建築面積は1777㎡で延べ床面積は1303㎡。2階に同窓会事務所と会員専用サロン「みなと倶楽部」、3階は貸し会議室で、1階はテナント、4階から9階までは24戸の賃貸住宅となっている。

神事の際は60回を数えた。神事後、あいさつに立った古屋文雄代表理事は「感謝」と新会館完成を喜んだ。また「進交会の情報発信や、ワンチームになって母校を支援していきたい」と話していた。

高校と大学が一体化した全国でも珍しい同窓会である進交会は120年余の歴史を持ち、約6万1500人の会員を誇る。会館が建つ土地は同会が所有する。

同会は2016年夏から特別委員会を立ち上げ、旧会館の老朽化やテナント調整などの課題解決策を話し合ってきた。

【新進交会館落成記念キャンペーン】

新進交会館の落成を祝し、

進交会終身会費を 30,000円

➔ 20,000円

に割引いたします。

期間：令和2年4月～9月末迄

※この機会に是非ご利用下さい。

※詳しくは宛名書き裏面をご覧ください。

祝 新進交會館落成

株式会社アイスコ
 代表取締役会長 相原敏貴
 (昭41Y)

古屋 文雄
 (昭38Y・43商)

株式会社 横浜リテラ
 代表取締役 星野 匡
 (昭53Y)

Luce hair design ✂
 Takamatsu
〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町2-5-5
 高松ミサエ (昭39Y)

林 泉 (昭12Y)	亀井良江 (昭25Y)	西出 衛 (昭29Y)	鳥海邦博 (昭29Y)	トリウミ興産(株)	岩田全弘 (昭30Y)	原田武司 (昭35Y)	(株)原田	宮下和光 (昭38Y)	三八会 代表	益子良一 (昭43Y)	税理士法人コンフィアンス	横関久美子 (昭43Y)	スナック花
---------------	----------------	----------------	----------------	-----------	----------------	----------------	-------	----------------	--------	----------------	--------------	-----------------	-------

田辺稔忠 (昭20Y④)	笠原文雄 (昭23Y)	横浜綿布工業(株)	金子芳一 (昭27Y)	神崎政敏 (昭27Y)	南 信一郎 (昭28Y)	横山明弘 (昭28Y)	石田靖幸 (昭29Y)	葉袋隆雄 (昭30Y)	青木覚司 (昭35Y)	石井正一 (昭38Y)	尾崎琇三 (昭38Y)	島田 猛 (昭39Y)	菊地 富美子 (昭39Y)	央苑緑化(株)	本吉 優 (昭40Y)	舛水 洋 (昭41Y)
-----------------	----------------	-----------	----------------	----------------	-----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	------------------	---------	----------------	----------------

荻原茂夫 (昭48Y)	中村正雄 (昭48Y)	島田 章 (昭52Y)	Y校吹奏楽部OBバンド	関根信男 (昭57Y)	シーエスネットワーク(株)	高野みのり (平25Y)	寺田光男 (昭36商)	イースタンシステム(株)	小林 孜 (昭36文)	三村俊介 (昭37商)	芦川 稔 (昭40商)	芦川会計事務所	桑原正子 (昭41文)	大橋守昭 (昭42商)	笹谷俊道 (昭44商)	税理士法人 中央総研	山田喜美代 (昭44看)	高橋雅彦 (昭46商)	(株)事業開発	中島庸介 (昭48商)	(株)ウエスコ
----------------	----------------	----------------	-------------	----------------	---------------	-----------------	----------------	--------------	----------------	----------------	----------------	---------	----------------	----------------	----------------	------------	-----------------	----------------	---------	----------------	---------

はつかに見えし 歌の芽

今野 寿美 (市大文昭51卒)

新しい進交会館の竣工おめでとうござ
います。卒業後はすっかりご無沙汰して
しまったわたしですが、先年、ホームカ
ミングデー2016にお邪魔して文芸と
しての短歌の磁力を考えながら少々語ら
せていただいたときのことを思い起し
ています。四十年ほどを経て目の前にし
た市大は新しい建物が連なり、中央の並
木にも風格が備わって、すっかり垢抜け
たキャンパスに変わっていました。

図書館は一番奥にあったはずですが、
その日もうひとつ都内での予定があり、
立ち寄る時間がなかったのが今も残念で
す。入学した頃、司書のおひとりで年配
の男性が能楽に通じていらして評論もお
書きになっていました。筆名はたしか
「かうの・よし」さんだったと思います。
謡曲の読み方や鑑賞法、上演の情報につ
いてもお教えくださり、すっかりその気
になって水道橋の能楽堂などによく行き
ました。でも、いま考えるとどれほど理
解していたか、あやしいものです。

日本の古典文学が好きだったので、能
楽への関心もそのつながりでしたが、三
年のとき『古今和歌集』の恋の巻を夜の
机に開いて読み始めました。恋の歌は巻
十一から十五までなのですが、恋の発端
から始まり、駆け引きやら口説きやらを
経て成就あるいは破綻するまでの首尾、
その後の名残とか恨みまで、すべてをな
ぞるように並んでいます。そんな構成も

心憎いのですが、最初からだどっていつ
て壬生忠岑の歌にゆき当たった途端、い
たく感動してしまつたのです。

春日野の雪間をわけておひいでくる

草のはつかに見えし君はも

この歌は「はつかに見えし君はも」つ
まり、ちらっと見えたあなたのこと忘れ
られないという一目惚れを訴えたもの
で、実のところ言いたいのはそれだけ。

「春日野の」から「草の」までは「はつ
かに」を呼び起こすための、歌詠みには
周知のフレーズなのです。奈良の若菜の
名所で雪を分けてかすかな芽生えが目
入るように、ちらっと…というわけです。

古代の歌びとは、一目惚れをこんなふ
うにことばに乗せ、そして残すものなの
か、という感嘆に浸つたのですが、それ
以上に二十歳そこそこのわたしが共感し
たのは「はつかに見えし君はも」のこ
ろでした。恋心のささやかな、それでも
くつきりと刻まれる瞬間は、時代を超え
て、このまま通用するではないか。表現
するというのはそういうことなんだ…。

反射的に、歌を詠もうと決めました。
授業より卒論より、それからの学生生活
は短歌。近代以降の歌人の歌集や歌書の
乱読で過ぎました。短歌を一生つづけた
いから教員になることにして、実際十四
年間都立高校に勤めましたが、教員と育
児と短歌の三つはさすがに重すぎ、あつ
さり退職。そこは、案外なまくらだった
のかもしれない。

市大の卒業生は、ことに文理学部と同
世代では卒業後の進路として教員という
選択が多かつたように思います。昨年

十一月、進交会北陸支部総会の場にお招
きいただいて秋ただなかの金沢を楽しみ
ましたが、支部長の谷口肇氏はじめ商学
部出身の男性が多い一方、お声かけく
ださつた新田優子さんほか事務的に支部を
支えている女性たちは、長年教鞭を執り、
定年後も教育関係の仕事をつづけている
など、その道のベテラン揃いのようにし
た。

もともと国語科ではなく英語、また市
大の理科を出られて金沢大学の教授を退
官された遺伝子学の専門家とか、そんな
方々を前に、求められるまま「短歌の謎」
なんて話をしてしまつて恥ずかしい次第
です。みなさん終始、しくん。なじみが
なかつたせいですね。でも宴の席は大い
に盛り上がりました。

その極めつけが最後の校歌斉唱。旋律
には記憶がありますが、在学中は応援団
が歌うものとしか思つてなかつたし、歌
つたこともありそうになく、歌詞はとん
と出てきません。市大の同窓会に支部が
あるということすら知らずに過ぎたわた
しなど、全員が三番まで堂々歌いあげる
のを感じて見ているばかりでした。

ただ、こうして振り返ってみるまでも
なく、もう人生の三分の二以上を歌詠み
として生きてきたわたしにとって、歌の
発端はたしかに学生時代にあつたことを
思わないわけにゆきません。

忠岑の一首にであつたとき、はつかに
見えたのが歌の芽だったのだと、そう思
えることが幸せです。



「2016年1月の宮中歌会始。皇居松の間」



「2016年1月の宮中歌会始。皇居松の間」



「甲府での短歌大会のとき」

美澤校祖伝記の

入手由来

長谷部 信彦 (Y昭17・専20卒)

昭和9年、福澤諭吉の女婿福澤桃助・駒吉父子にて、創立された横浜の鶴見曹達株式会社(現東亜合成(株)鶴見工場)は翌10年から操業を始めたが、製造部門に比して総務部門の人材集めに難渋していたようである。それを打開すべく福澤駒吉社長が案じた策は、慶応義塾同門の美澤進校長ゆかりの横浜商業学校(Y校)に依頼することであった。本来ならば商業系の対極にある化学系への求人への道筋は無に等しかったが、それを社長自らが拓かれて、5人のY校生の入社を実現させたのである。その顔触れは、昭和12年卒の荒兼久三郎・清宮伊内、同14年卒の佐藤幸吉・関口澄夫、同16年卒の佐久間一郎の諸兄で、終戦後の新体制に全員が管理職に昇進なさっている。

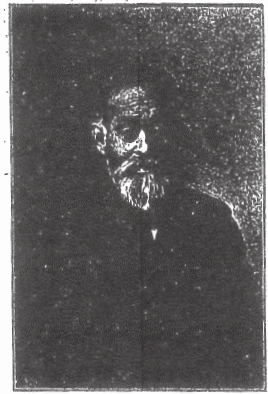
以上の私の旧懐談に添えて、慶応の元塾長の小泉信三博士がY校時代の美澤校長に深く私淑されて、明治の三澤(福澤諭吉・澁澤榮一・美澤進)の一人として敬っておられた話を披露したが、平成30年の東亜合成OB会の席上である。

次の年のOB会にて思い掛けない好事を授かった。それは前回の私が語った美澤校長の話に関心を持たれた高村美已志社長が、自ら慶応図書館所蔵の「慶応義塾出身名流列伝」(明治42年発行)と云う古書の中から、美澤校長の伝記を探し出しコピーして下さったのである。この文献は三田商業研究会の編集に依るもの

で、美澤校長の生い立ちから明治期までの献身的な教育ぶりを綿密に画いている貴重にして希有の史料と云えよう。

ここに、高村社長へ深甚なる謝意を表した上で、この不世出の伝記を進交会各位へ公開させて頂くことにする。

明治42年6月10日発行 慶應義塾出身名流列伝
三田商業研究会編集 実業の世界社発行



横浜商業学校長

美澤進氏

横浜市南太田町一六三四
(嘉永二年生)

横濱商業学校が校内に模擬実験室を設け商業取引倉庫運搬買込取銀銀行通商郵便電信等の諸科を置き一々傳票を作りて之を實際に練習せしむるが如き他に比類を見ざる設備は全く氏が校長として考案經營せるもの也。以て氏の横濱商業教育に於ける功勞を知るべし。

氏は岡山縣川上郡三澤村の富豪美澤氏の嫡子嘉永二年十一月十日を以て生る。稍長するに及んでさしもの商家も故ありて没落の悲運に遭ひしかば氏は幼時の策士に引かかへて極めて困難なる生活を送りきされば有為特絶の世に幾多の辛酸を嘗み盡くして奮然向學の志を養ひ明治五年八月上京して箕作秋坪氏の塾に入り八年一月慶應義塾に轉じ十年七月本科を卒業す。苦學せる氏の在學時代には傳ふべき話柄も少からねど三年の間一枚の衣服を以て冬は綿衣に夏は單物に仕立てしめて之を用ふる居たりと云ふ。

慶應義塾出身名流列傳 (みづ部) 美澤進氏

一八三九

慶應義塾出身名流列傳 (みづ部) 美澤進氏

一八四〇

明治十一年五月三、慶應義塾校長森下峯楠氏に聘せられて之に入り十四年六月辭職し同年森下氏及び小幡氏の紹介を以て横濱商業学校創立に際し入りて其校長となる。然るに當時の商人は單に損益を知らば足れりとして商業教育の何たるを知らざる有様なりしかば固より充分なる設備を整ふべくもあらず。町會所の一角を教室にしつらひ五人の教員に生徒も五人に過ぎずして其發展の上には有ゆる苦心を重ねき。斯くて教則教務の諸則を編製し商業科英語科漢学科を教ふ。次いで夜學校を起し十五人の生徒を得たり是を横濱補習學校の前身なりとす。

十九年十月始めて商業學校卒業生三人を出す。二十二年七月夜學部に於て始めて二名の卒業生を得たり。既にして商業學校補習學校共に盛運に向ひしかば二十八年三月之を分離し兩校長を兼ねて以て今日に至る。氏の教育方針は最も實際を主とし時々生徒を派遣しては各自調査に従事せしめて其の報告を作らしめ又生徒を誡めて謙遜の徳を養はしめんとせり。氏の精勤は有名なるものにて實踐躬行を以て模範を示し子弟を見ること兒の如く。毎朝教員生徒を整理せしめ校訓を讀み聽するを以て常とし今日に至る迄二十七年一日の如し。

氏又體育を重んじ、一貫二百目の鐵亞鉛を以て體操をなし商人にも武人的性格を必要とし卒業生に勸めて一年志願兵たらしむ氏は所謂和魂商才を兼ねたるものにて其の薫陶せる卒業生中メキシコ、印度等に活動せるものも少からず。かゝれば氏は横濱商業界の恩人にして人望も盛んで高く、模範勲章銀杯等を送られしこと數ふるに遑あらずと云ふ。

市大だより
横浜国立大学の学生数
(令和元年5月1日現在)

学部	学生数	男子学生数	女子学生数	
国際総合科学部	2,444	1,011	1,433	
国際教養学部	308	82	226	
国際商学部	281	149	132	
理学部	143	64	79	
データサイエンス学部	129	81	48	
医学部	医学科	563	372	191
	看護学科	411	13	398
合計(人)	4,279	1,772	2,507	

大学院	学生数	博士前期	博士後期
研究科			
都市社会文化研究科	50	31	19
国際マネジメント研究科	46	39	7
生命ナノシステム科学研究科	146	123	23
生命医科学研究科	94	79	15
医科学研究科医科学専攻	410	39	371
医学研究科看護学専攻	62	51	11
合計(人)	808	362	446

◆数字で見るYCU

・留学生数 126人(17カ国・地域)

(令和元年5月1日現在)

・留学・海外研修参加者 610人

(平成31年3月31日現在)

・TOEFL-ITP 500点※相当以上の

学生 97.5%

3年次に進級する最低達成水準

(令和元年5月1日現在)

※TOEIC 600点、英検準1級

・就職率 99.3%

平成30年度国際総合科学部の就職実績

(全国平均97.6%)

・医師国家試験合格率 97.7%

平成30年度医学部医学科の実績(全国

平均89.0%) ※既卒含む

・看護師国家試験合格率 100%

平成30年度医学部看護学科の実績

(全国平均89.3%) ※既卒含む

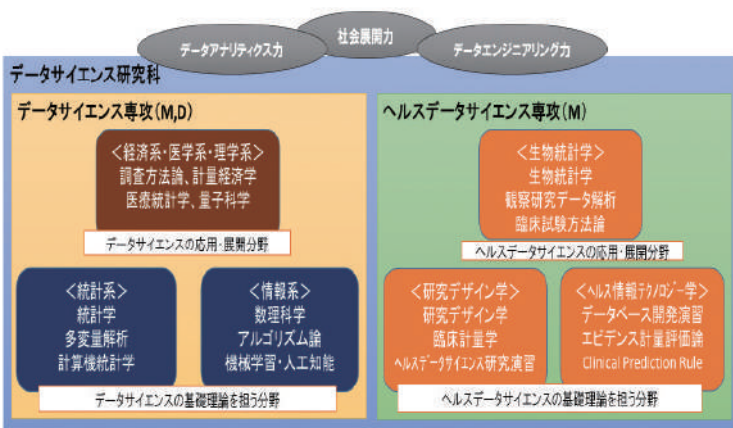
・男女比 男子41% 女子59%

(令和元年5月1日現在 学部生数)

◆データサイエンス研究科を開設

令和2年4月に大学院データサイエンス研究科を開設しました。平成30年に開設した首都圏初のデータサイエンス学部との接続、および社会人にも門戸を広げ、社会が求める高度なデータサイエンス人材を育成します。

研究科はデータサイエンス専攻(博士前期課程・博士後期課程)とヘルスデータサイエンス専攻(博士前期課程)の二専攻からなります。1期生の入学試験では両専攻とも定員を超える応募があり、



二倍前後の倍率となりました。

ヘルスデータサイエンス専攻は日本で初となる予防・医療・介護領域(以下、ヘルス領域)に特化した大学院です。医学部とデータサイエンス学部を併せ持つ国内唯一の大学として、我が国のヘルス領域におけるデータサイエンス人材の育成をリードします。

データサイエンス専攻の博士後期課程では、実社会の様々な分野の課題に対し、学術的考究を加え、新たな価値創造のために自立した研究活動を遂行できる力や革新的データサイエンス技術を開発するなど、学術研究から経済社会の発展に貢献できる人材を育成します。

◆学生ボランティアが国際的なイベント等で活躍中!

令和元年は横浜市内で国際的なイベントが多数開催されました。8月にパシフィック横浜をメイン会場にして開催された第7回アフリカ開発会議(TICAD7)では百名の学生ボランティアが語学などを生かし、会議の運営を支えました。学生たちは普段触れることがない外交の現場を見聞きしながら活動したことで、自身の成長や達成感を得るなど充実した経験となったようです。

ラグビーワールドカップ2019の開催期間中は、新横浜駅前の横浜市のPRブースで海外からの観客に向けた案内活動を行ったりスコットランドチームのファンや来日VIP向けの「スコットランドラグビーハウス」の運営補助などの活動を行いました。11月の横浜マラソンではゴール後の選手への荷物渡しや医学部の学生によるBLS隊(一次救命処置)の活動だけでなく、応援団・音楽系団体による沿道でのパフォーマンスなど幅広い活動を行いました。

大学ではこのように様々な活動を行う学生ボランティアをサポートするため、ボランティア支援室を設置しています。学生にボランティアの場を提供するほか、新たにボランティア活動を始めようとする学生へのサポートや独自プログラムの企画・運営も行っています。

令和2年も、様々な場面で活動する学生ボランティアの活躍にご注目ください。

◆古本募金のご報告とお礼

YCU古本募金

不要になった本やCD、DVD、ゲームソフトをご提供ください。買取の代金が大学への寄附となり、大学図書館の図書購入費として活用されます。

平成30年度も古本募金を通じてたくさんの寄附をいただきました。ご協力ありがとうございます。

ご提供いただいた古本の数 **22,948点**

寄附金額 **522,308円**

お問い合わせ
Tel. 045-787-2447 (横浜市立大学 基金担当)

◆YCU通信

「YCU通信」は年2回、卒業生のみならずまご自宅にお届けしている大学発行の卒業生向け広報誌です。大学や在学生のいま、卒業生の活躍情報などをお届けしています。広報誌が届いていないという方、住所変更を希望される方は下記担当までご連絡ください。

☆お問合せ先
学生支援課 卒業生担当
Tel. 045-787-2026
Mail: obog@yokohama-cu.ac.jp



◆市大百年史編集委員会

**あなたの思い出の写真で
百年史を彩りませんか？**

周年史に掲載する写真を募集しています。詳細は、下記連絡先までお問い合わせください。



横浜市立大学
百年史編集委員会 事務局 ☎ 045-787-2076

※原則、ご提供いただいた写真は返却いたしません。

◆演奏会情報

【管弦楽団】
Spring Concert 2020

日時：令和2年5月16日（土） 昼公演
場所：神奈川県立音楽堂
（JR・市営地下鉄桜木町駅より徒歩10分、京浜急行日ノ出町駅より徒歩13分、みなとみらい線みなとみらい駅より徒歩20分より）

◆SNS

横浜市立大学では、卒業生のみならずSNS（ソーシャルネットワークサービス）を利用して大学情報をお届けしています。ぜひチェックしてみてください。

**横浜市立大学卒業生担当
facebook ページ**

大学・キャンパス・金沢八景の「いま」、卒業生・在学生の活躍など、卒業生のみならず「いいね!」と思う情報を発信してまいります。ぜひチェックしてみてください!

facebookを調べて、「横浜市立大学卒業生担当」と検索してください!



http://www.facebook.com/YCU.alumni

YCU X LinkedIn

世界最大級のビジネス特化型SNS「LinkedIn (リンクドイン)」上には、世界中に1,500人以上の横浜市立大学 (YCU) ネットワークがあります。グローバルなフィールドで活躍するOB・OGとつながりたい方は、ぜひ「横浜市立大学カレッジページ」をご活用ください!

LinkedInを開いて、「横浜市立大学」と検索してください!



https://www.linkedin.com/edu/yokohama-city-university-14421

市大活動だより

※学年は令和元年度のものです。

◆陸上競技部

井上 玲奈 (市大総2年)

私たち横浜市立大学陸上競技部は、現在3年生5人、2年生11人、1年生8人計24人で活動しています。週3回の練習のため、1回の部活を大切にしながら毎回充実した練習を行っています。

学生主体の自立した環境の中、令和元年度は男子800mで全日本対抗戦陸上に出場し、女子1500mでは関東甲信越大学体育大会で優勝しました。陸上は個人競技ではありながら、チームの良さが結果につながってくるため、次年度は良いチーム作り、伴って更なる個人の記録の向上に努めていきたいと思えます。

また陸上競技部は1月2日3日に開催される箱根駅伝の走路員として毎年ボランティアを行っており、各種大会に出場するだけでなく、走る人を支える側としての活動もしています。陸上部のTwitter (@YCUJTA) では大会速報を、ブログでは選手の意気込みなどが載っていますので是非見ていただけたらと思います。



ブログのURL



◆硬式野球部

佐々木 健人 (市大総2年)

硬式野球部は神奈川県立大学野球連盟に所属し、その歴史は長く、リーグ戦の優勝回数は13回（関東学院大学・神奈川県立大学に次ぐ3番目）、全国大会出場は4度ありうち2回はベスト4に進出するなど、先輩たちは大変素晴らしい活躍をされました。しかし、現在は二部リーグに留まっている状況です。

平成16年春季リーグ戦以来の一部リーグ復帰を目指し、3年生5名・2年生10名・1年生10名の計25名で、「一勝懸命」をスローガンに、部員一同精進して参ります。また令和元年12月に、我が部よりプロ野球選手が誕生しました。投手の三吉央起（国総4年）が、沖縄県に新たに設立された琉球ブルーオーシャンズに入団します。みなさん応援を宜しくお願いします。

横浜スタジアムで試合ができる一部リーグに復帰できるよう頑張りますので、ぜひ試合の観戦にきていただければ幸いです。これから温かいご支援を宜しくお願いします。



◇【ハンドボール部】

榎原 瑞生 (市大総3年)

横浜市大ハンドボール部は、横浜市大体育館で週3回の練習を行っています。2019年は新入生が多く、男女合わせて27人も入部しました。2年生13人、3年生12人、4年生10人と合わせて62人と大所帯となりました。2019年度の秋リーグで男子は7部1位となり、6部へ昇格となりました！女子は2部Bに所属しており男女ともに一つでも良い成績を目指し日々練習に励んでおります。チームの仲の良さが当部の強みであり、男女ともにOne Teamとしてこれからもハンドボールに打ち込んで行きます。



◇【英語部ESS】

西窪 明日香 (市大総3年)

横浜市立大学英語部ESSは部員が60名ほどの団体です。部内にはテーマに対し議論し勝敗をつける「デイベートセッション」・テーマに対し話し合う「ディスカッションセッション」・コンテストで優勝者を輩出している「スピーチセッション」・鎌倉などで外国人観光客を案内する「ガイドセッション」の4つのセッションが存在し、部員は自分の好きなセッションに所属し活動しています。基本的にセッションごと週1〜2回活動し、大会への参加や他大学との合同イベントも盛んに行っています。月に1度全セッション合同の活動も行い、自分の所属するセッション以外のメンバーとの交流を行っています。

OBOG会は毎年開催し、各所で活躍する先輩方と交流する貴重な場となっています。来年度も開催する予定です。お時間あればぜひいらしてください。卒業生のみなさんにはESSの活動を温かく見守っていただけると幸いです。



市大同期会だより

◇市大商学部昭和39年卒「39会」

幹事 小峰 連太郎

卒業して55年が過ぎた今年、平成から令和になり初年度の集まりを今年の去る4月22日(月)に横浜中華街の名門、老舗の順海閣に各地より12名が出席し開催されました。(昭和63年にこの会が始まった時は42名が記されてましたが昨年までに14名が他界され4名が所在不明です)

定時に始まり、先ず川添君の発声にて全員で乾杯！！店自慢の料理とお酒を食べるわ、飲むはでしばし皆ご機嫌……この後、欠席者からの近況やら出席者の近況、思い出話が話され、それを聞きながら又また食べる、飲むで大いに盛り上がりました。全員があと僅かで傘寿なのにもあ元氣！！

閉会の前に昨年「喜寿の祝い」の書に続き、今年も佐野君の筆による「令和47」を掲げ写真を撮り次回を約し解散しました。令和2年の会は進交会館で開催したく会員諸君の健勝を祈ります。



写真は

前列左より

石川(光)

秋山(卓)

佐野、吉本

川添、万字

後列左より

北原、馬淵

戸川、梶谷

小峰、藤本

Y校だより

◇支えられ、愛され 歴史を刻むY校

横浜市立横浜商業高等学校校長 磯部 修一

平成三十一年四月に着任して、一年間という時の流れの速さを感じます。本校に着任して驚いたことの一つは、一階ホールに初代校長の美澤進先生が使われた机が飾られていることです。

そして今年度は、その初代美澤先生の生誕百七十年にあたることから、Y校祭で美澤校長先生関係の資料展示を図書館にて行いました。その際にはY校会の皆さまにご協力をいただきました。

また、毎年海外研修等でご支援いただいているY校・母校支援委員会では、今年度、例えばY校卒業生による講演など、生徒と直接触れ合える支援をしたいというお声がありました。

現在、新学習指導要領を踏まえた教育課程編成を進めています。その中では、学校教育を学校内に閉じず、教育の目標を社会とも共有し連携することで「社会に開かれた教育課程」を実現することが大切にされています。そのことから様々な職業の視点からお話を聞ける機会が貴重なものとなるはずですよ。

これからも地域に愛され、信頼されるY校を目指してまいります。引き続き本校教育活動へのご理解・ご協力をよろしくお願いたします。

最後になりましたが、今後ますますの進交会の発展をお祈りいたします。

◆着任の御挨拶

横浜市立横浜商業高等学校校長代理
横田 亨

今年度より、校長代理となりました。昨年度までの3年間は、Y校別科の校長代理を務めておりました。別科は横浜商業高校内に設置されていますが、厚生労働省所管の一理容師美容師養成校ともいえません。運営は理美容師法基盤により修業年限2年の半分は実習です。生徒はほぼ高卒以上の者で高校とは雰囲気異なります。高校教諭と管理職の経験しかない中、別科着任当時は毎日が未知との遭遇でした。別科でも高校の常識の中で、今考えれば無謀な改革を進め、職員の方には迷惑をかけたと思いますが御協力頂き創立70周年やダブルライセンス課程設置と大きな事業を進めることができました。

◆硬式野球部の

ボランティア活動
硬式野球部副部長 宝珠山 悟

私たち硬式野球部は、昨年度、第91回センバツ高野球の21世紀枠候補校として神奈川県高野連より推薦をいただきました。選考の理由は昨秋の県大会8強という結果もさることながら、それ以上校長年にわたり全部員で近隣清掃や環境整備活動に取り組んできたことが高い評価を受けたことによります。

こうした活動は今年度も続けています。その中で今年度は新たに県外でのボランティア活動も実施いたしました。11月2日(土)に栃木県での國學院栃木高校との練習試合前に、栃木市大平町で台風19号により被災された方々の災害ゴミ処理のボランティア活動を行いました。栃木市は台風19号による豪雨で、栃木県内で最も多い1万3000棟余りが水につかる被害を受けたそうです。当時栃木市ではボランティアに協力してくれる方の人数不足が深刻化しており、そうした状況を聞いた私たちは是非ともお役に立ちたいと考え、ボランティア活動を行ったわけです。選手達も当初は粗大ごみの量に少し怖気づいていましたが、日頃鍛えた

体と精神力で気持ちを入れ替えてその後は作業に没頭しました。時間的には午前中いっぱい、短い活動時間となつてしまいましたが、



が、少しは地元の方々の災害復興にお役に立てたのではないかと考えております。当日の活動は栃木県の地元紙である下野新聞にも記事として取り上げていただきました。その記事の中に、地元の方々の喜ばれているコメントが掲載されており、私たちも頑張ったかいがあったと感じております。

今回このような活動を体験したことは、選手たちにとって一人の社会人としての成長に大きなプラスになったはずで、私たち指導者は野球の技術の向上のみならず、これからは部員たちの人間的な成長を目指して、こうした活動に力を注いでいく所存です。今後ますます地域から愛される部活動になるように様々な活動・取り組みを行ってまいりますので、今後とも御指導御鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



◆横浜とY校ボート部と

ボート部顧問 會田 尚

皆さんは、いつから横浜においてボート競技が行われるようになったかを御存知ですか。その答えは1863年(文久3年)です。この年、横浜港でイギリス水兵によって行われた、「グラランド・ヨ

コハマ・インターナショナル・レガッタ」が横浜初のボート競技だといわれています。

その後、1868年(明治元年)に横浜ローイングクラブの設立が行われ、1885年(明治18年)には日本初の国際レガッタが横浜にて行われるなど横浜でのローイングが盛んとなるなか、1897年(明治30年)にY校ボート部は産声を上げました。

Y校初代校長でいらつしやる美澤先生は体育の正課(授業)としてローイングを取り入れたり、Y・C・Sのチームに分けて学内レガッタを行ったりするなど、盛んにローイングを取り入れていらつしやつたようです。

その後、戦時の休部や平成の休部など多くの困難がありました。それら乗り越えてY校ボート部はこんにちを迎えることができている。

近年の課題といえば、活動する上で不可欠といえる練習艇・競技艇を用意することです。横浜市の予算で購入していただけの可能性はなく、現在はボート部B・OGで構成する後援会からの援助をいただき、艇を

購入しています。部員が増えてきたこともあり、少しづつ購入を進



めています。その一方で、これから始まる艇の入替・更新が課題となります。昭和38年以来である「インターハイ優勝」を目指してこれからも頑張つてまいりますので、応援のほど、どうぞよろしくお願いを申し上げます。



◇自然科学部研究発表会にチャレンジ

自然科学部顧問 小島 理明

自然科学部は、今年度から正式に部として認められ活動してまいりました。今回は活動の一部について御紹介させていただきます。

8月、「都市の川は海を豊かにできるか」という研究テーマが、日本財団主催の「海と日本」プロジェクトマリッチャレンジプログラムに採択され、同じく選ばれた関東エリアの高校とともに口頭発表を行いました。また、同じテーマで中高生向けの研究発表会である「サイエンスキャッスル」へ12月に応募し、ポスター発表を行いました(写真)。Y校のすぐ近くを流れる大岡川を中心としたテーマで日頃の研究活動を発表する良い機会となりました。

その他に、桜のクロロリン培養などさまざまな取り組みがあります。桜の研究についても、春に咲きほころぶ大岡川沿いの桜を見て生徒が試みているものです。活動場所は4階理科実験室。テラスには小型のビオトープをつくりました。神奈川県内の農家から分けていただいた古米(赤米)の水田があります。カラスが水を飲みに来たり、スズメが穂をかじりに来たりしています。水槽にはクマノミ、ウーパールーパー(写真)、カブトガニ、肺魚、ハリネズミなどの生き物たち、南方の海岸植物や鳥たちもいます。文化祭などで来られたときはぜひ訪ねてください。

逗子海岸や大岡川上流などに生物観察に出かけることがあります。大岡川の上流は水取沢、横浜市内最高峰の円海山を囲み鎌倉にも近く自然豊かです。学校近くにまで、カワセミやメジロもやってきます。ご来校の折にお時間あれば散策してみたいかがでしょうか。川沿いに水源まで歩くのも気持ちの良いものです。これからも地域とのかかわりを大切にしながらしっかりと活動していきたいと思えます。



◇スポーツマネジメント科 研究発表会

保健体育科 山下 賢美

12月18日(水)YSM(横浜商業高校スポーツマネジメント科)4期生(3年生)が、次の目的で研究発表会を行いました。

○スポーツ科学の授業の集大成として、スポーツもしくは自分の身体に関する疑問について研究・調査を行う。

○自らの興味・関心から発生した疑問に對して、仮説を立て、科学的に検証し、その考察を行う。

○研究、調査内容について発表すること、疑問や考察について共有し、相互に高め合う機会とする。

研究したいテーマで班を編成し、9班で次のようなテーマで研究を行い、発表しました。

科学的に検証できるように、データ収集方法を学び、実験方法の工夫をしました。また、疑問や課題を解決するために、試行錯誤を重ねながら、班のメンバーだけではなく、他の班とも協力し取り組みました。自分たちで、意欲的に研究をした成果を發揮した研究発表会は、大変素晴らしい時間となりました。スポーツマネジメント

研究テーマ	
1	0.1秒でも早く次の塁に到達するためのスライディング
2	技術向上の近道とは
3	より効率的な休憩時間の過ごし方
4	バットを短く持つことで打率が上がるのか
5	バナナの力は本当か
6	興奮と力の関係
7	呼吸法の違いによる最大筋出力の違い
8	<水泳>手の形で距離が変わるのか
9	ウォーミングアップによる筋力発揮について

ト科教育顧問の法政大学 平野裕一先生にも、「大変素晴らしい発表会だった。これは、個人ではなくグループで協力した成果だと思えます。」とお褒めの言葉をいただきました。

3年生はこの経験を活かして、さまざまな分野で活躍して欲しいと思います。

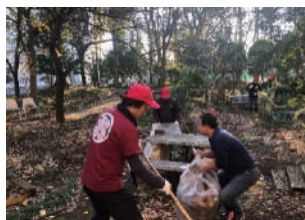
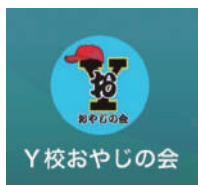
1・2年生は、今後のY校生活や自分たちの研究発表会に繋げてほしいと思います。



◇Y校おやじの会

会長 岡田 洋宣

おやじの会は、Y校を管理されている職員の方々をサポートするため、父兄が中心となり2005年に発足いたしました。現役の父兄とアドバイザーとしてOBが参加し、Y校を陰で支えるべく精を



出して活動しております。主な活動は現在も、Y校内の庭園や施設の清掃整備・維持管理活動となります。毎月第二土曜日の午後から2時間程活動、その後汗を流して銭湯へ、そして地域の美味しい店にて懇親会を行い、おやじの会の活動について積極的な意見が交わされております。

Y校の清掃整備活動のほか、様々な活動を行っております。その一つがY校祭では、毎年模擬店を出店しております。2019年はそばうどん、わらび餅、野菜の販売を行いました。模擬店の質を高めるために数ヶ月前からミーティングを重ね、本番に臨みました。多くの方々の協力のもと、多くの方々に利用いただき感謝の気持ちでいっぱいです。



おやじの会の会員には様々なバックグラウンドを持った方々があり、会員間の大きなメリットとなっております。同じ趣味の方々が集まった



り、ビジネスで繋がったりしており、会員の絆が深まっております。

県内の高校で、父兄が中心となって活動する団体はほとんどないと聞いております。今後もY校の発展、地域のために陰ながらサポートできるよう、精いっぱい頑張りますので、引き続きご支援、ご鞭撻のほどよろしく願います。

Y専同期会だより

◆Y専1612会

「最長寿者表彰楯」保管を
進交会へ委ねる

藤本 明 (Y昭14・専昭16卒)

平成26年発行の進交会報第80号に掲載しておりますが、元進交会理事長の(故)野並豊君 (Y昭14・専昭16卒) の発案によるもので、Y専昭和16年12月卒の仲間最長寿者を「Y専1612会物故者(冥途の会) 会員一同」で表彰楯を贈呈するということです。多分に野並豊君の風刺、諧謔に関わるセンスの遊びとでもいえるでしょう。

昭和16年12月、Y専を繰り上げ卒業した仲間は173名を数えますが、現在進交会で生存を把握しているのは数名となっております。思えば我々の1612会は(故)加藤清君のあの情熱あふれる努力と野並豊君のこの上ない援助と理解、そして我々クラスメートがあの時局の中で一瞬きらめく青春の日々を共有したことで、長くその集いを続け、親交を深めることができました。しかし、時の流れとともに幽明境を隔てる友の数も増してまいりました。所詮、いつの日にか

「表彰楯」を贈呈する日が訪れます。その日を以て私共の1612会の歴史は閉じられることになるわけです。その手続きも確りと定めておかねばと感ぜられる昨今です。

この程、崎陽軒本店に保管されておりました「表彰楯」及び「表彰状」を新進交会館に保管していただけることとなりました。お陰さまで有終の美を飾ることができるよう道筋も付いて「ほっと」いたしました。謹んでご報告申し上げます。

来るべき年が佳き年でありますように1612会諸兄のご健康のほどお祈り申し上げます。

表彰状
貴兄は我がクラス会Y専1612会の会員として年1回の会合には良く出席し融和と親睦の中で学生時代以来の旧交を暖めてゆくことに努力してくださいましたそれと共に健康には特に留意し会員の高齢化で年ごとに生存会員が減少する中において貴兄は泰然と長寿を保たれ遂にこの度最後の1名の生存者という栄冠を獲得されました。このことは既に存在する世界が異なるとはいえず我々一同敬意を含めて祝意を表する者でありますよってここに最高長寿カップを添え表彰します。
Y専1612会物故会員一同



Y校同期会だより

◆Y校昭和四十七年卒

第2回同期会開催

武田 満明 (Y昭47卒)

令和元年6月8日ナピオス横浜にて永井先生はじめ90名の出席で開催しました。先日ご逝去された丸岡先生もビデオレターでお元気なお顔と声でご挨拶いただきました。上階のラウンジバーでの二次会を含めて、笑顔と談笑のうちに時間が過ぎ、5年後の次回を楽しみに閉会しました。次回も多くの方のご参加をお願いします。



◇Y校38年卒業

河本級クラス会開催

宮下 和光 (Y昭38卒)

5月14日(火)の朝、大雨注意予報が出された、今まで覚えている限りの晴天下で行われてきた、卒業以来19回目のクラス会の日、11時横浜そごうの時計台下に集合。雨の中をシーバスに乗船し山公園で下船、徒歩にてあめりか山公園を通り外国人墓地前の明治時代の異国情緒を感じるクラシッくな山手十番館に於いて開催された。

我がクラスは、入学時52名、現在では逝去者13名・行方不明者3名の36名中、21名の参加者であった。

司会者より、既に新聞紙上に報道済みであった、我がクラスでの驚愕な事が発せられた。

春の褒章受章者が出現したと、鎌倉市で長年にわたり保護司を担当していた事が評価された。ラグビー部出身の鈴木正行君だ。花束贈呈を行い喜びを分かち合った。

参加者の近況報告があり、各施設・町内会で披露しているというマジック

の名人芸もあり、楽しい華やかな会となり、二次会を

全員で元町の喫茶店に入り

雑談をし、来年の再会を祈って解散となった。



◇Y校(昭和42年卒業)

3年7組古希を祝うクラス会

岡本 光幸 (Y昭42卒)

平成30年9月30日、古希を迎えた旧友17名が久しぶりに集まりました。

今も現役で仕事する人、退職後野菜作りに励む人、高校時代からの音楽活動を今も続ける人、夫と一緒に飲食店を営む人、苦難の体験を赤裸々に語る人、そしてお定まりの孫自慢etc。卒業後の「それぞれの半世紀」が語られ、互いの健康と古希を祝う会に！

再会を喜び、笑いに満ちた濃密なひとときであったためでしょうか。参加者のそれぞれが52年前の記憶に残る「Y校時代の顔」とダブって見えてきて……。

大型台風の接近という生憎の日和で限られた時間での宴でしたが、歳月の長さを語りつくせないのは当然のこと、「喜寿」「傘寿」での再会を誓って散会しました。



◇平成30年度

Y校バレーボール部

OB・OG会

五十嵐 裕子 (Y昭43卒)

例年、進交会館「みなと倶楽部」にて開催されていたY校バレーボール部OB・OG会ですが、今年は進交会館建替え工事の為、中華街の龍翔記で平成30年11月17日(土)に行われました。

会場は迷う方もいらっしゃいましたが、昭和21年卒から昭和54年卒までの30名の出席となりました。

昭和21年卒の渋谷重夫大先輩からの再会を喜ぶ挨拶と乾杯から始まり、幹事の生沼良益先輩の進行で、それぞれの現役時代の話に花が咲きました。

また、現在は女子のみとなりましたが、Y校バレーボール部顧問で、昭和54年卒の杉崎敬一先生から現況を報告していただきました。今年のY校祭では金沢総合高校との練習試合もあり杉崎先生からのお知らせで、OB・OG会の有志の方々も応援することが出来ました。キャプテンを先頭に随所に良いプレーが観られたこともあって期待を込めてカンパが弾みました。

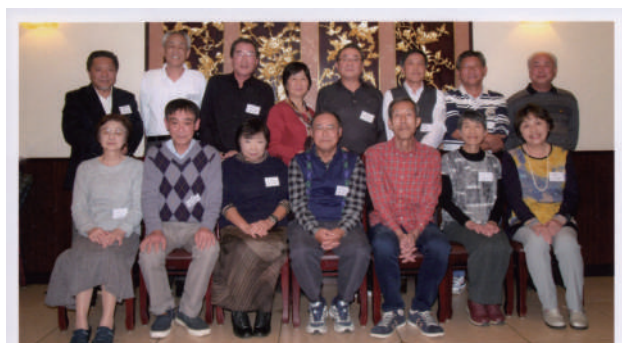
みなと倶楽部とは違い、個室2つの扉を開放したサイドに余裕のない縦長のテーブル設定だったので、席移動が難しくテーブルごとの歓談になりました。

恒例の記念写真も一同に撮る場所がなく2組に分かれて撮影しましたが、その中でも、諸先輩の方々の活気と迫力、母校愛の深さに感銘しました。

今回は、新しく建替えられた進交会館



平成30年Y校バレーボール部 OB・OG会
平成30年11月17日 於：横浜中華街 龍翔記



平成30年Y校バレーボール部 OB・OG会
平成30年11月17日 於：横浜中華街 龍翔記

「みなと倶楽部」で必ず再会しよう
と約束して解散しました。

◇軟式野球部

創部70周年記念祝賀会開催

前OB会会長 宮下 和光(Y昭38卒)

平成30年の師走、世間では忙しさを増す、12月16日(土)、当部は創部70周年の記念祝賀会を横浜駅東口の崎陽軒本店にてOB・OG・現役・家族・指導者等々、約180名もの参加を見た。会の次第に従って、OB会会長の挨拶があり、70周年を顧みて新入生が初めて訪れる新旧校舎の話、旧校舎のゴミ焼場、横の部屋長屋、過密状態で練習したグラウンドの話、2万人を越す観衆の中での海邦国体優勝の話、3人が達成したノーヒットノーランの話、これまでの6回全国大会出場、20回もの県大会優勝の話等々年代順に約25分間のスピーチがあった。その後乾杯があり関係者の挨拶を受け懇談に入った。

OB会会長の退任、新会長の就任挨拶があり、今後のOB会組織を「誠歌会」と改称する案を提案。校歌斉唱、記念撮影をし祝賀会を終じた。

追伸 軟式野球部の監督、顧問が、他校の副校長に栄転する人事異動があった。

◇Y校OBが野球教室小学生

球児300人 白球追う

転載タウンニュース

掲載号・2020年1月23日号

市立横浜商業高校(Y校)硬式野球部OB会(長谷部淳一会長)による少年野球教室が1月11日に同校グラウンドで行われ、市内の小学生球児約300人が参

加した。

この野球教室は、小学生の野球人口増やチーム間交流などを目的に開催しているもので、今年で6回目。昨年は元巨人の山口鉄也さんからOBも駆けつけるなど、毎回にぎわいを見せる。

この日は打撃や投球、守備練習をローテーションに行い、同校OBの熱のこもった指導に球児は全力プレーで応えた。普段は交流がないチーム同士も練習で絆を深め、教室終了後に全員で集合写真を撮った。

長谷部会長は「子どもたちの全力プレーが見れほっこりした。数年後、Y校のユニフォームに袖を通してもらえれば」と笑顔で話した。



◇Y校東海道会

矢部 和郎(Y昭34卒)

第33回Y校東海道会が4月12日(日)湘南クリスタルホテルで行われました。参加者は例年よりやや少ない12名でしたが、本部より田宮副理事長(77期昭39卒)事務局より安川栄一氏(82期昭44卒)にご出席いただきました。

恒例の記念撮影の後石田会長(63期昭29卒)のご挨拶と、進交会館建替え募金に東海道会として協力、田宮副理事長にお渡ししました。

最年長の亀井良江さん(63期昭25卒)の乾杯の音頭で開会となりました。田宮、安川両氏から進交会の近況と会

館の進捗状況を伺いました。完成が楽しみです。その後参加者による3分間スピーチが和やかに続けました。

最後に全員で校歌斉唱して来年の再会を期し散会しました。次回は令和2年4月12日(日)開催いたします。



◇近畿Y校会総会・懇親会

内田 正雄(Y昭35卒)

令和元年度の近畿Y校会総会兼懇親会を、5月19日(日)梅田周辺で行いました。

今回は初参加の松山幸夫さん、横浜Y校会からは多額の御祝い金と近畿在住のY校卒業生名簿を頂きありがとうございました。

今年度は少し趣向を変え、初めは近くにあるながら、なかなか行けない「梅田スカイビル空中庭園」の散歩です。入園料は一人1,500円とやや高めですが、この日は天候にも恵まれ40階の天空公園

からの大阪市内、生駒の眺望は最高でした。

この後は会場を大阪駅近くの「ビックエコー」に移しての総会・懇親会・カラオケ大会です。

内田会長から簡単な会務報告・会計報告のあと、深谷顧問の挨拶と乾杯。続いて安川さんよりY校及び硬式野球の近況について話していただきました。

しばらくの飲食・歓談の後、恒例となった参加者皆さんからの近況報告です。

Y校時代の思い出、横浜の思い出、孫の話、病気に掛ったことなど多種多様。そして最近少し強くなってきた硬式野球部の甲子園への出場期待で大いに盛り上がりました。

この後は昨年、他の客への配慮から止めた校歌の斉唱をはじめ、各種応援歌を歌詞カードを見て次々と歌い上げ、カラオケ大会は中止。それでも予定時間を1時間超え漸く打ち止めにし、別れを惜しみつつ家路につきました。

尚、今年度も近畿Y校会は顧問 深谷悦男、会長 内田正雄、幹事 酒瀬川裕養

父勝弘、針金洋子さんをお願いし、頂いた名簿を基に新たな入会呼びかけをしたいと思いますので今後よろしくお願いたします。



支部だより

◇静岡支部

支部長 戸塚 征士郎 (市大商昭43卒)
 第49回進交会静岡支部総会を4月13日(土)、中島屋グランドホテルにおいて、参加者13名で開催しました。

総会には、横浜市大から2名の来賓を迎えて開催されました。市大は平成30年に創立90周年を迎えたが、中野忠会員(昭24Y専卒)によれば新制大学の卒業生は令和で70回生日、ということ、歴史の重みに感慨を新たにしました。

記念講演は市大商昭33卒の宮田優治さん。静岡・浜辺づくりの会の経験を生かして、ボランティア活動の要諦を語っていただきました。来賓の大澤正俊国際商学部長からは百周年目の心弾む目標をお聞きし、下澤事務局長の6億円寄付計画



には協力をという声に、協賛の声が上がりました。

懇親会はジャズバンドWINDSの心地よいBGMの中、昭40市大医卒の石田孜郎会員の健康に関する忠告や、日経新聞に数日前紙漉きの伝統技術を継承すべく頑張っている前田浩(文理昭61卒)会員の話等、多士済々の会員の話や生オケで盛り上がりになり、最後に校歌斉唱でお開きになりました。

事務局 太田 千晴 (市大商昭42卒)
 〒420023
 静岡市葵区春日3・17・1
 電話 054・205・5058

◇宮城支部

吉田 格 (市大商昭41卒)

平成になって翌年、宮城支部が発足しそれから約30年が過ぎました。平成最後の例会は前年と別の会場、仙台駅近辺の割烹「和旬楽」で11月17日(土)に開催されました。今年度の例会は出席会員12名、本部事務局から例会開催にあたり祝電を頂戴、開会に先立ち出席会員に紹介され支部長より進交会会館の新築計画の説明がなされました。今年に残念なことに毎回出席されている古川英治氏(市大商昭44卒)が2月に急逝されましたのでご冥福を祈って献杯しました。また以前、高齢者の介護について講和された木村さよ子さん(市大看護昭46卒)も癌治療、努力の甲斐なく逝去されました。

今年度は学生時代まで仙台に居住、現在は東京にお住まいの吉田明氏(市大文昭43卒)がいずれ仙台に拠点を移されることで、遠路参加され新聞社勤務時代の参

考になる裏話を紹介されました。今年の例会には昨年、一昨年と参加された方も出席され新しい顔ぶれの例会になりました。その後会員ごとに現状の生活様子並びに健康維持の話や、互いに参考にしながら時間の経過するの忘れ懇談しました。

今回出席された会員は全員、次回も参加して現状と体調の報告をしてくれるそうです。支部会の維持、発展のためにも宮城に関わりのある方の参加をお待ちしています。

改元新年度例会も例年通り11月に開催の予定です。

事務局長 吉田 郁 (市大商昭59卒)
 電話 022330916845
 携帯 08055770191



進交会だより

◇事務局だより

★平成30年度の進交会賞は、平成31年3月15日市大「カメラアホール」にて、古屋理事長から次の14人の学生に授与いたしました。(敬称略)

- 国際総合科学部 国際総合科学科
 - 人間科学コース 橋本 美沙
 - 社会関係論コース 足沢 優佳
 - 国際文化コース 岩倉 佳子
 - まちづくりコース 和田 朋也
 - 地域政策コース 塩谷 彩夏
 - グローバル協力コース 長野 楓
 - 経営学コース 佐藤 将也
 - 会計学コース 曾我 顕功
 - 経済学コース 常盤 夏奈子
 - 物質科学コース 植 墨
 - 生命環境コース 加藤 麦都
 - 生命医科学コース 横溝 明香里
 - 医学部 祖父江 瑤子
 - 医学科 吉田 香
 - 看護学科
- ★令和元年度の進交会賞は、令和2年3月25日市大「シーガルホール」にて、古屋理事長から次の14人の学生に授与いたしました。(敬称略)
- 国際総合科学部 国際総合科学科
 - 人間科学コース 竹内 夏樹
 - 社会関係論コース 早川 日向子
 - 国際文化コース 安達 大介
 - まちづくりコース 樋口 陽之
 - 地域政策コース 六土 南月
 - グローバル協力コース 五十嵐 菜由

経営学コース 金井 海成
 会計学コース 吉永 茉莉杏
 経済学コース 山崎 大暉
 物質科学コース 宮村 香澄
 生命環境コース 栗山 夏綺
 生命医科学コース 石井 理愛
 医学部 長谷川 巧
 医学科 澤田 実華
 看護学科

★平成31年3月1日のY校卒業式で7名に進交会奨学金、33名に美澤皆勤賞を授与しました。

◎進交会奨学金受賞者(敬称略)
 佐々木穂果、西村絢太、谷田沙羅、吉田ひとみ、清水拓人、荻久保将太、木菱美玲

★令和2年3月1日のY校卒業式で7名に進交会奨学金、40名に美澤皆勤賞を授与しました。

◎進交会奨学金受賞者(敬称略)
 安達樹、堀岡瑠月、水野亜美、松本新、星本彩朱、齋藤光一、加藤洋平

◆活動報告

★平成30年度一般社団法人進交会
 社員総会
 日時：令和元年5月25日(土)
 場所：横浜市消費生活総合センター
 5階会議室3

出席者：51名(委任状45通)
 右記の通り開催し、古屋理事長、岡田市大学長補佐、長田Y校校長の挨拶の後、直ちに議事に入りました。

第1号議案の事業報告を、総務・財務委員長の相原常務理事が報告。続いて第2号議案正味財産増減計算書・貸借対照表を安川事務局長が説明し、三浦監事より監査報告がなされました。第1・2号議案に次いで第3号議案、新理事追加選任決議も全てが満場一致で承認されました。

◎新任理事(敬称略)
 舛水洋(Y昭41卒)

★令和2年進交会新年懇親会

令和2年1月25日(土)に崎陽軒本店で開催を予定しておりました『一般社団法人進交会新年会』は、令和2年3月4日(水)に落成式を予定しており、ご出席予定者の方々へのご負担及び当方の業務煩雑化等の理由により、誠に勝手ながら中止とさせて頂きました。

毎年の新年の恒例行事であり楽しみにされていた皆様には、ご迷惑をおかけしましたことを、心より深くお詫び申し上げます。
 なお、令和3年は崎陽軒本店於、開催する予定でおります。

不運が続いた『Y校昭和43年同期会』開催について

五十九歳 裕子(Y昭43卒)
 昨年10月12日(土)に開催予定でしたが台風19号上陸のため中止に、そして、再度令和2年2月29日(土)に予定しておりましたが新型コロナウイルス感染防止のため再び中止とせざるを得ませんでした。
 しかし、我が同期生はこれにめげず「三度目の正直」を信じて今年度も開催を企画挑戦します。待っていてください。
 Y43同期の皆様、「さらなる団結を」!

正味財産増減計算書総括表

自 平成30年 4月 1日
 至 平成31年 3月31日
 (単位:円)

科 目	一般会計	特別会計	美澤基金	総合計
(1) 経常収益				
基本財産受取利息	1,080			1,080
広告料収益等	540,000			540,000
貸室収益				0
共益費収益				0
光熱費収益				0
みなと倶楽部収益				0
文化教室収益				0
受取入会金	6,040,000			6,040,000
受取会費	1,991,870			1,991,870
受取寄付金			9,287,728	9,287,728
雑収入	666		20	686
経常収益計	8,573,616	0	9,287,748	17,861,364
(2) 経常費用				
会報発行費	1,586,342			1,586,342
その他の事業費	218,963	592,234		811,197
行事費	421,677			421,677
慶弔費				0
母校関係費	1,223,800			1,223,800
奨学金	1,005,000			1,005,000
みなと倶楽部運営費	0	259,200		259,200
文化教室運営費	0			0
諸給	2,867,080	3,639,121		6,506,201
法定福利費	41,942	74,926		116,868
交通費	101,020	469,770		1,156,851
通信費	1,064,341	92,510		1,156,851
管理費				0
修繕費				261,260
光熱費	26,126	235,134		171,045
会議費	43,281	127,764		1,279,518
消耗品費	52,966	1,226,552		878,800
租税公課		878,800		3,080,100
固定資産税		3,080,100		0
減価償却費				150,610
支払利息	19,334	150,610		8,480
保険料		8,480		38,668
図書費	19,334	19,334		0
諸会費				0
衛生費				205,280
雑費	97,706	50,900	56,674	19,731,687
経常費用計	8,769,578	10,905,435	56,674	1,870,323
当期経常増減額	△ 195,962	△ 10,905,435	9,231,074	△ 1,870,323
固定資産除去損		△ 110,648,224		110,648,224
一般正味財産期首残高	118,585,492	△ 49,690,121	62,354,208	131,249,579
一般正味財産期末残高	118,389,530	△ 171,243,780	71,585,282	18,731,032
指定正味財産期首残高	20,359,147			20,359,147
指定正味財産期末残高	138,748,677	△ 171,243,780	71,585,282	39,090,179

貸借対照表総括表

平成31年3月31日現在
 (単位:円)

科 目	一般会計	特別会計	美澤基金	総合計
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	3,163,989		6,980,401	10,144,390
未収入金				0
前払費用				0
流動資産合計	3,163,989	0	6,980,401	10,144,390
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
奨学金・定期預金	12,919,147			12,919,147
基本金・定期預金	7,440,000			7,440,000
基本財産合計	20,359,147			20,359,147
(2) 特定資産				
土地	28,332,089			28,332,089
特定資産合計	28,332,089			28,332,089
(3) その他の固定資産				
建物		0		0
建物付属設備		0		0
什器備品		0		0
建設仮勘定		10,000,000		10,000,000
長期貸付金		0	64,604,881	64,604,881
その他の固定資産合計		10,000,000	64,604,881	74,604,881
固定資産合計	48,691,236	10,000,000	64,604,881	123,296,117
3. 事業間貸借	126,448,625	△ 126,448,625	0	0
資産合計	178,303,850	△ 116,448,625	71,585,282	133,440,507
II 負債の部				
1. 流動負債				
前受金	0		0	0
従業員預り金	64,420		0	64,420
流動負債合計	64,420		0	64,420
2. 固定負債				
前受入会金	18,320,000			18,320,000
預り金		0		0
預り保証金		0		0
預り敷金		0		0
長期借入金	21,170,753	54,795,155		75,965,908
固定負債合計	39,490,753	54,795,155		94,285,908
負債合計	39,555,173	54,795,155		94,350,328
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
奨学金	12,919,147			12,919,147
基本金	7,440,000			7,440,000
指定正味財産合計	20,359,147			20,359,147
(うち基本財産への充当額)	20,359,147			20,359,147
2. 一般正味財産	118,389,530	△ 171,243,780	71,585,282	18,731,032
正味財産合計	138,748,677	△ 171,243,780	71,585,282	39,090,179
負債及び正味財産合計	178,303,850	△ 116,448,625	71,585,282	133,440,507

市大同窓会だより

◇市大同窓会の活動について

進交会副理事長（市大同窓会長）

金子 延康（市大商昭52卒）

昨年、進交会横浜市立大学同窓会（略称・市大同窓会）の第一回総会を八月に、市大同窓会（交流会）を十一月に開催しましたのでご報告します。

〔市大同窓会〕

市大同窓会は、長年にわたりほぼ隔年に開催されてきた市大同窓会（交流会）を母体として、同窓会の役割をより具体的に果たしていく組織として、進交会（市大・Y専・Y校の同窓会組織）のもとに発足しました。市大設立百周年に向けて市大が諸改革を進める中、市大設立九十周年の節目の平成三十年十月に発足の運びとなりました。

〔第一回総会〕

第一回総会は、昨年八月十日に上大岡の消費生活センター会議室において開催。設立総会以降の活動・会計報告、新年度の事業計画、同窓会規約の改定等を議題として、市大・Y専卒の理事、代議員、協議会委員、市大関係者など、約五十人の参加を得て、熱心な議論検討が行われました。同窓会の規約には、同窓生相互の交流に加え、大学や現役生との連携と同時に、地域や地球の持続的発展目標（SDGs）にも貢献する繋がりのソフトインフラを目指していることが盛り込まれています。同窓会の規約にSDGsが盛り込まれるのは全国初となります。



市大同窓会第1回総会

〔市大同窓会交流会〕

市大同窓会交流会は、大学の協力を得て、十一月三日のホームカミングデーと同日に、シーガルセンターにおいて開催されました。窪田学長、二見理事長、各学部長など大学の皆さまにご参加いただき、多くの同窓生が集まり開催されました。窪田学長からご挨拶に続き大学の取り組みなどお話しいただき、同窓生からは、市大百周年に向けた連携事例として、海外支部の取組や、木原研究所のSDGsの取組の説明、また、現役生からは国内戦を見事勝ち抜き米国遠征するチャリデーニングの披露などもあり、大変賑やかな中で交流と懇談が弾みました。

〔市大同窓会のこれから〕

今年も市大同窓会交流会をホームカミングデーと同日、十月三十一日に八景で開催予定です。皆さま、ぜひご参加いただき、発展し続ける母校をご覧ください。また、当日は浜大祭開催中ですので在校生との交流を楽しんでいただけます。

市大同窓会は人材の宝庫です。同窓会に一人でも多くの方が参加され、親睦を深められ、更に新たに繋がることで、大学の発展と、さらにはSDGs等、地域や地球の課題解決にも役立つことができます。参加して楽しく、社会にも貢献できる同窓会に、ご一緒に進めていきましょう。



市大同窓会交流会

〔お知らせ〕

◎市大同窓会の年会費は二十円、終身会費は二万円です。お支払方法等詳しくは、進交会HPをご覧ください。

◎Facebook（fb）に市大同窓会のページ「横浜市立大学同窓会（公開G）」がありますので、ぜひご参加下さい。

Y校会だより

◇Y校会活動報告

【社会見学会】を開催

安澤 順子 (Y昭33卒)

令和元年6月14日(金)は薄曇ながら爽やかな日だった。私は東京社会見学会に参加し、38名と共に横浜駅東口を出発し、府中街道を走り渋滞に遭う事もなく、先ず東京競馬場に着きました。平日なので普段入れない馬場に進む馬上の騎手が見張りまじり。競馬博物館ではいろいろと展示されており見学しました。

深大寺の食事処は「雀のお宿」という愛らしい名前の店で名物の天ぷらそばに舌鼓を打ちしばしおしゃべりを楽しみ、その後深大寺を散策し静寂さに浸り、そしてJAXA調布航空宇宙センターに向かいました。ここでは3班に分かれて説明を受け、見学用のロケットのコックピットのすぐ後に座り、私達も月面着陸を体験して感動しました。ロケットの展示を見て「実物はこんなに細いの!」と感心しました。帰路の車の中では我慢していたお酒類が振舞われ皆さん和気藹々の雰囲気包まれ、年の差を忘れた楽しいひと時でした。スケジュール通りに進み予定の時間に到着しそれぞれ家路につきました。何回か参加していますが、今年は割合と若い?男性が多かったように思われました。「企画良し」「天気良し」「食事良し」と3拍子揃ったこのツアー

は素晴らしいかったです。幹事の皆様本当にありがとうございました。



【Y校会海外研修奨学金】の授与

海外を目指すY校生。その志に応じていく事を目的として、令和元年10月、台湾研修自費参加者5名に総額10万円、ニューヨーク研修自費参加者1名に10万円の『Y校会海外研修奨学金』を授与しました。

【令和2年度行事予定】

令和2年3月に開催予定のY校会総会の開催が新型コロナウイルス感染症防止により中止となり、具体的な行事が確定しておりません。
☆主な予定行事

- 6月 歌舞伎鑑賞教室
- 8月 暑気払い
- 10月 麻雀大会
- 12月 Y校会の集い

『浜っ子寄席』鑑賞会

※新進交會館に於いてY校会講座を開催することを検討します。

【Y校会について】

Y校会は一般社団法人進交会のY校同窓会部門として、会員相互の研修と親睦を図り母校の発展に寄与する事を目的に平成9年に発足しました。

母校Y校を卒業した者をもって構成し、Y校会会費(進交会とは別枠、年間1,000円以上)を納めていた会員を正会員、他を一般会員とさせていただきます。

現在、正会員は560名ですが、早期に1,000名体制にすべく募集中です。

この機会に、会費の納入にご協力をお願いいたします。

☆お問い合わせは

Y校会事務局(担当 安川迄)
電話 045-681-6575

進交会囲碁クラブからのお知らせ

当クラブは現在、登録会員36名で毎週火曜日と土曜日の午後に、日本棋院横浜囲碁センターで、週例碁会を行って居ります。

今般の新進交會館落成に伴い、週例碁会場所は新進交會館・会議室に令和2年5月以降、戻りますので、是非この機会に皆様からの当クラブへのご加入を、歓迎致します。

詳細は……進交会事務局まで
☎0456816575
会長 名塚三郎 (Y昭20⑤)

草月流いけばな教室の会員募集!!

いけばなを楽しみながら人の輪を広げてみませんか?

《おけいこ日》

第1・第3火曜日(毎月2回)

10時~12時30分

《月謝》

3,000円

(会場費1回500円、

花材1回2,000円)

《連絡先》

進交会事務局 (TEL 045-681-6575)

《講師》

伊藤瑠香 (TEL 045-822-7027)

《E-mail》 Sougeturuko@ezweb.ne.jp

